

「おうちで読書」の取組における意見聴取結果

■「おうちで読書」の取組日時・場所等

令和5年7月28日（金）10時～12時・大津市内の公民館にて（公民館主催）

■「おうちで読書」の取組概要

「読書ボランティアによる読み聞かせ」→「親子で読み聞かせや遊び」→「読書ボランティアによる読み聞かせ」というプログラム内容で実施。「親子で読み聞かせや遊び」をする時間があることで、読み聞かせをとおした親子のコミュニケーションが生まれ、子どもたちも嬉しそうにしていた。（乳幼児10名とその保護者7名が参加）

■意見聴取内容

取組の後に、可能な方に残っていただき、「こども としょかん」のコンセプト図を見て感じることや普段思っていることについて自由にお話しいただいた。

保護者からの声

- ・図書館までは遠いが、公民館は近いし騒いでもよいので子連れでも来やすい。公民館で絵本を読んだり、読み聞かせを聞いたりすることができて嬉しいが、貸出もしてもらえたら、さらに嬉しい。
- ・ネットで本を買える時代になったが、やっぱりこうやってずらっと本物の絵本が並んでいて自由に手に取ることができると、思いがけない絵本との出会いがあるので嬉しい。
- ・県立図書館は事前に書庫の本を予約することができないので、子連れだと大変。地域の図書館みたいに家にも書庫の本も含めて予約できるようにしてほしい。
- ・県立図書館は駐車場が遠くて大変。子どもを抱っこして、借りた本を持って移動する大変さを知ってほしい。例えば、子連れは優先的に近くの駐車場に停めさせてもらえたら嬉しい。返却だけでもしやすいように、図書館の駐車場や駅前などにブックポストを作してほしい。

読書ボランティアからの声

- ・昨年度、地域の図書館で読み聞かせ用の本を借りようとしたら「団体登録されていないので貸せない。」と言われた。別の市町の図書館で借りようとしたら「読み聞かせをする場所が他市なので貸せない。」と言われた。最終的に県の本を借りることができたので読み聞かせをすることができたのだが、公共図書館にはもっと柔軟にボランティアに対する本の貸出ができるようになってほしい。
- ・住んでいる市では市内の読書ボランティア同士が交流する場が設けられている。他の市町の読書ボランティアとも交流したい。
- ・いつも県の研修会に参加したいと思っているが、午後開催だと参加しにくい。子育て中の人は午前の方が研修会に参加しやすい。
- ・子ども食堂と読書ボランティアで連携していきたい。短い時間でも数多く絵本と触れ合える機会をつくりたい。